

北秋田市立鷹巣小学校 社会科の森林学習

北秋田市立鷹巣小学校では、5年生の社会科授業で森林が果たす役割についての学習に取り組んでいます。今後は、森林の育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により、国土の保全など重要な役割を果たしていることに目を向けてもらうことを目的として、令和6年11月15日（金）に外部講師による森林学習が企画され、当署から2名、技術普及課から1名の職員が「ゲストティーチャー」として参加しました。今回は、当署のほかに北秋田地域振興局、北鷹高等学校、大館北秋田森林組合、白神ボランティアガイドの方々がゲストティーチャーとして参加し、5年生児童が事前に選んで待ち構える教室にお邪魔して授業を行いました。



授業の様子



説明内容を真剣にメモ

当署の担当する教室には7名の児童が参加して、「森林管理署の仕事」や「林業を学ぼう」の話をクイズに答えてもらいながら聞いてもらい、森林の育成や役割などについて学習してもらいました。児童たちは事前に授業で森林の役割などを学んでいたため、クイズ正解者が多くてびっくりしました。パソコンを目の前にしながら、一生懸命ノートにメモを取る姿や質問の多さに、児童たちの学ぼうとする意欲の高さを感じました。

今回の学習で、児童たちには森林管理署の仕事や、森林・林業の役割などについて理解を深めてもらうことができたのではないかと思います。



クイズの正解者の多さにびっくり



真剣に説明を聞いてくれました